

学校の道徳教育重点目標を基に設定した、学年の重点目標を示す。

- ・道徳の年間指導計画に従い、「教材名」と「内容項目」の番号を入れる。
- ・道徳の時間において「わたしたちの道徳」を活用する場合には、★などの印をつける。

【地域・家庭などとの連携の方法】  
家庭・地域社会・他の学校や関係機関との連携の方法を具体的に記述する。

・協力体制づくり	・道徳科の授業公開
・広報活動	・保護者や地域の人々の参加や協力の内容

各教科等の方針に基づいて進める道徳性の育成に関わる指導の方針や内容及び時期を整理して示す。

各時期の道徳科で扱う内容が、それぞれの教科等のどの内容と関連しているかを、並べて明示する。

【行事】  
学校や地域の特徴を、生かした取組や集団宿泊活動、ボランティア活動、自然体験活動などの体験活動や、実践活動における道德性育成の方針・内容及び時期等を整理して示す。  
また、豊かな体験活動がなされるよう計画するとともに、体験活動を生かした道德の学習が効果的に展開されるよう工夫する。

【道徳科】  
全ての内容項目を一時間以上扱う。特に、学校及び学年の道徳教育の重点目標に関わる内容は複数時間扱う。体験活動を生かした道徳科が効果的に展開されるように工夫する。

【地域との連携】  
協力体制づくりや道徳科の授業公開、広報活動、保護者や地域の人々の参加や協力内容及び時期、具体的な計画等を記述する。

【特活／教科】  
各教科等の方針に基づいて進める道徳性の育成に関わる指導の方針や内容及び時期を整理して示す。道徳科が要としての役割を果たせるよう計画を工夫する。

各教科等の目標や内容には、児童の道德性の育成に深い事柄が直接、間接に含まれている。各教科等において道德教育を適切に行うためには、まず、それぞれの特質に応じて道德教育に関わる側面を明確に把握する必要がある。それらに含まれる道德的価値を意識しながら指導することにより、道德教育の効果も一層高めることができる。(小解説P.102, 中解説P.107)